

平成25、26年度 土木学会第4回複合構造委員会 議事録

1. 日 時：平成27年1月13日（火）14:00～17:10
2. 場 所：土木学会講堂
3. 出席者：伊藤顧問，三浦顧問，島委員長，奥井副委員長，池田幹事長，上田委員，大西委員，大山委員，街道委員，加藤委員，金治委員，上原子委員，小林委員，近藤委員，齋藤委員，佐々木委員，紫桃委員，杉浦委員，立神委員，玉井委員，利根川委員，中島委員，中村(俊)委員，中村(光)委員，中村(一)委員，松村委員，三ツ木委員，葛西幹事，滝本幹事，西崎幹事，広瀬幹事，牧幹事，松本幹事，溝江幹事（敬称略，計34名）
4. 配付資料：
 - 委4-0 議事次第
 - 委4-1 委員名簿
 - 委4-2 第3回複合構造委員会 議事録（案）
 - 委4-3 複合構造標準示方書(案)改訂案
 - 委4-4 「維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会」の設置
 - 委4-5 平成26年度年間スケジュール
 - 委4-6-1 第8回複合構造委員会幹事会議事録
 - 委4-6-2 第9回複合構造委員会幹事会議事録
 - 委4-6-3 第10回複合構造委員会幹事会議事録
 - 委4-6-4 第11回複合構造委員会幹事会議事録（案）
 - 委4-7 平成26年度予算の執行状況
 - 委4-8-1 平成26年度全国大会（研究討論会）報告
 - 委4-8-2 平成26年度全国大会（共通セッション）報告
 - 委4-9 第5回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム報告
 - 委4-10 土木学会論文集A1特集号：複合構造
 - 委4-11 JSCE2015に対するアクションプラン作成
 - 委4-12 平成27年度事業計画および予算要求調書
 - 委4-13 平成27年度重点研究課題の募集
 - 委4-14 平成27年度全国大会研究討論会の募集
 - 委4-15 第11回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム開催
 - 委4-16 国際会議「IABSE-JSCE joint conference on Advances in bridge engineering-III」
 - 委4-17 出版関係報告
 - 委4-18-1 複合構造委員会小委員会一覧

- 委4-18-2 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 委4-18-3 H181 鋼コンクリート合成床版設計・施工指針作成小委員会
- 委4-18-4 H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会
- 委4-18-5 H213構造物の更新・改築技術に関する研究小委員会
- 委4-19 第二種研究小委員会の成果公表の見直し
- 委4-20 土木学会示方書調整委員会の設置について
- 委4-21 平成27, 28年度 委員長選挙結果

5. 議事内容：

(1) 委員長挨拶

島委員長より挨拶があった。H25, 26年度の最終委員会ということで、この2年間の簡単な総括をした。今期で行ったものとして、土木学会論文集特集号の発刊、複合構造示方書の改訂、そして、受託研究の受入などを行った。

(2) 第3回複合構造委員会 議事録(案)の確認

溝江幹事より、資料に従い、議事録(案)の紹介があった。内容について、了承された。なお、一部、幹事長よりコメントがあった。以下がコメント。

【コメント】

- ・委員会日程について、議事録では1/6としていたが、幹事会等で議論の末、1/13に変更した。
- ・委員会資料を学会ファイル置き場にアップすることを検討している(P. 11)とあるが、既に、アップを開始しているので、委員の方々に、参照されたい方は、ぜひご覧いただきたい。

【審議事項】

(3) 複合構造標準示方書 改訂案

中島小委員会委員長より、スライドおよび資料(委4-3)を用いて、改訂案の内容(意見照会に対する対応)について説明があった。

種々の対応点に関する説明とともに、以下の点を検討している。

- ・製本版とCD版での販売を考えているが、出版委員会との交渉段階で、どのようになるかは未定である。
- ・2015/3出版を予定している。
- ・講習会については、地方開催も視野に入れている。

委員会として、今後の微調整を示方書小委員会に一任することで、この改訂が了承された。なお、以下の質疑があった。

【質疑】

- ・(質問) 意見紹介した先方には回答を提示されたか？
(回答) 回答はHPに掲載することも考えている。なお、意見紹介いただく際に、最終的な対応は委員会に一任いただきたい旨の一文を付け加えてある。
- ・(質問) 対応に対する討議等の機会を設けるのか？

(回答) 次回改定の際の参考とさせていただきたい。

なお、委員会の1週間後までに示方書小委員会（中島委員長あるいは渡辺幹事長）に意見をいただければ、対応を検討する。ただし、その内容については、小委員会に一任いただきたい。

(4) 「維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会」の設置

大西委員より、資料に沿って、委員会設立に先だって趣旨説明があった。委員会としては、第二種小委員会として設立することを了承した。ただし、以下の質疑およびコメントがあった。

【質疑およびコメント】

- ・ (質問) 舗装などについて、この種の検討は、海外では昔からやられているが、海外の事例は調査されているか？

(回答) 前小委員会で、ヨーロッパの事例は調査している。ヨーロッパでは日本に比べて、舗装が厚くなっているのので、日本とは置かれている状況が異なるのではないかと考えている。また、排水と絡めたものは見当たらなかったのので、できれば、この委員会で進めていきたい。

- ・ (質問) 接着剤等はどうか？

(回答) 調査はしているが、世界と大きくかけ離れているものはないが、寒冷地域などで使い分けている可能性はある。

- ・ (質問) 接着剤だけを専門的に研究しているものもいると聞くので、接着剤についても重要と考えてはどうか？

(回答) ぜひ、委員会で検討していきたい。

- ・ (コメント) 鋼構造委員会でも床版防水の委員会があるので、ぜひ、連携を検討していくべきと思われる。

(5) その他

特になし。

【報告事項】

(6) 幹事会報告

池田幹事長より、資料に沿って、前回委員会から今回までに行われた幹事会の議事録を紹介した。

なお、特に「部外からの問い合わせ」について、今回は、漠然とした問い合わせだったため、参考資料を回答するのみとしたが、今後の対応方法については、継続的に検討していくとのこと（第10回幹事会）、そして、第11回幹事会でその方針が検討されている旨の説明があった。

(7) 平成26年度予算の執行状況

池田幹事長より、資料に沿って説明があった。

(8) 平成26年度全国大会（研究討論会、共通セッション）報告

研究討論会について、滝本幹事より、資料に沿って説明があった。
共通セッションについて、広瀬幹事より、資料に沿って説明があった。

(9) 第5回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム報告
溝江幹事より、資料に沿って説明があった。

(10) 土木学会論文集A1特集号：複合構造
葛西幹事より資料に沿って、説明があった。

(11) JSCE2015に対するアクションプラン作成
池田幹事長より資料に沿って説明があった。

(12) 平成27年度事業計画および予算要求調書
池田幹事長より資料に沿って説明があった。

(13) 平成27年度重点研究課題の募集

池田幹事長より資料に沿って説明があった。なお、幹事会の判断としては、今回は、最近の採択の動向を鑑みて、応募はしない方針でいるとの説明があった。なお、重点研究課題は、複数の委員会が共同して行うことを想定している。そのため、どこかの委員会から声がかかるかもしれないが、その場合は、幹事会で参画するかを検討することとなった。

また、委員から課題案について提案があれば、1/23（金）までに事務局または池田幹事長までご連絡することとなった。

(14) 平成27年度全国大会研究討論会の募集

池田幹事長より資料に沿って説明があった。今回も応募する予定であるが、その内容については、幹事会企画WGで検討中である旨の説明があった。

委員からテーマ案について提案があれば、1/23（金）までに事務局または池田幹事長までご連絡することとなった。

(15) 第11回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム開催

溝江幹事より、資料に沿って説明があった。

(16) 国際会議「IABSE-JSCE joint conference on Advances in bridge engineering-II」

池田幹事長より、資料に沿って説明があった。奥井副委員長より、本国際会議の概要について補足説明があった。また、上田委員より、1セッション(Repair, Renovation and Retrofitting)のオーガナイズを検討していることの紹介があった。

(17) 出版関係報告

池田幹事長より資料に沿って説明があった。

シリーズ05について、増刷を考えている。ただし、内容について、改訂も視野に入れているので、当面100部ほどの増刷を考えている。

(18) 小委員会活動報告

(H101) 複合構造標準示方書小委員会

省略（既に議題にて対応）

(H181) 鋼コンクリート合成床版設計・施工指針作成小委員会

杉浦小委員会委員長より資料に沿って説明があった。

部分安全係数についての議論が必要。少し期間を延長したい。2015年9月までに原稿を脱稿

(H212) 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会

牧連絡幹事より資料に沿って説明があった。1期延長することが報告された。

(H213) 構造物の更新・改築技術に関する研究小委員会

滝本連絡幹事より資料に沿って説明があった。

(19) 第二種研究小委員会の成果公表の見直し

池田幹事長より資料に沿って説明があった。見直しの骨子は、第二種研究小委員会の出版物は出版委員会を通さずに講習会での独立採算で印刷することであった。以下のコメントがあった。

【質問およびコメント】

・（コメント）H214委員会から適用されるとのこと。

・（質問）委員会の活動度評価の計算に影響はでないか？

（回答）少なからず、影響は考えられるが、活動度がBからAやBからCになるほどの影響はないと考えられる。なお、販売部数、講習会参加者数など、いくつかのところに関連して、結果としては大きく影響することはないとみている。

(20) 土木学会示方書調整委員会の設置について

池田幹事長より資料に沿って説明があった。なお、当委員会からも委員を選出したが、今のところ、具体的な活動はないとのこと。

(21) 終了小委員会の活動成果報告

(H206) 複合構造ずれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会

中島小委員会委員長よりスライドを用いて説明があった。以下の質疑があった。

【質疑】

（質問）頭付きスタッドのずれ限界は、直接数値で与えられるのか？

（回答）複合示方書よりずれ限界は径の何倍等で算定される。小委員会の検討ではずれ限界については余裕のある結果となったが、疲労で決まる可能性がある。

(H208) FRP 複合構造研究小委員会

杉浦小委員会委員長よりスライドを用いて説明があった。

(H209) FRP によるコンクリート構造の補強設計研究小委員会

上原子小委員会幹事長よりスライドを用いて説明があった。

(22) 平成27, 28年度 委員長選挙結果

池田幹事長より、資料（委4-21）に沿って、説明があった。委員長候補者選考細則により、有効投票数の過半数の信任票を得ており、次期委員長候補者として奥井現副委員長が選出された。

(23) その他

特になし。

以上。

(記録・文責：葛西昭)